

四条河原町発 起業家巣立て



住友不動産が1日 支援オフィス開所

「祖業の地」活用 東京から呼び込み

住友不動産は、起業家を育成するインキュベーションオフィス「GROWTH」を京都市下京区四条河原町南側の商業ビル「京都河原町ガーデン」に整備し、4月1日に開所する。事業拠点の東京からスタートアップやベンチャーキャピタル(VC)を京都に呼び込む。住友グループの「祖業の地」で起業支援に乗り出す。

施設は「GROWTH H(グロース 京都河原町)」で、8階レストランフロアの一角に整備した。約160平方メートルに36席を設けた。1席の利用料は月1万5千円。学生向けやイベ

住友不動産のインキュベーションオフィス「GROWTH」(京都河原町)で開かれたイベント(京都市下京区・京都河原町ガーデン)



ント利用の場合は無償貸し出しも計画する。同社が東京でオフィスを提供する約1800社の情報も活用し、大手企業やVCとのマッチングにも取り組む。

同社は、昨年から東京を中心に起業支援施設を開設している。京都や大阪を含め計10カ所で開業する計画。京都河原町ガーデンは、住友不動産が戦後の設立時から保有する唯一のビル。同社は京都に学生や大学発スタートアップが多いことから活用を決めた。

25日には京都市との

連携協定の締結式を現地で行った。出席した松井孝治市長は「市の政策もフル活用して起業や京都への誘致を支援する」と述べた。インキュベーション創出に向けたイベントも開かれた。(柿木拓洋)